

無理をせず、みんな楽しく

鳳支部

鳳支部は、2007年に支部分割し、西区の鳳地域（鳳・鳳南小学校区）で活動しています。本当に何もできない支部でしたが、男性の世話人3人が入って変わりました。2015年、大島大社鳥居前に「鳳ともの家ちぐさ」を開所。当初は誰も来なくて、世話人だけで帰った日もありました。参加者も増えて嬉しい悲鳴！今ではなくてはならない「たまり場」になっています。

2016年に夏休み子ども塾、2018年4月に念願の子ども食堂をオープン。今はコロナ禍でテイクアウトのみ、120食を提供していま



堺市西区に接する第2 阪和国

道より東側のJR阪和線を挟む地域を受け持っています。高石支部を4つに分割して誕生した、市内東端の支部です。

近隣の開業医のほか、阪和線東側では、みみはら高石診療所より、鳳クリニックを利用する会員が多い地域です。

「とも」配達部数は約570部で、18コースを16人で配っています。「一人当たりの配達部数を30部以内にした」と、担い手増やしを最重点課題にしていますが、容易ではありません。世話人は今年度から1人減って5人で、男性は1人です。「たまり場を確

つながりを大事に 健康も大事に

高石東支部

診療所玄関前や9の日宣伝など、定例化した活動もありますが、コロナ禍での中止もあります。つながりをつくり、つながりを生かし、つながりを広げる活動—その核はやはり「健康」だと思えます。「健康チャレンジ」は、よい機会です。(支部長 森島 嘉之)



子ども食堂

全日本民医連より表彰

す。長年続けてきた「ふれあい昼食会」、鳳商店街での健康チェックは、コロナ禍でお休みになり、残念です。昨年発表した「子ども食堂と地域の援助で働きながら高校進学を選んだAくん」は、全日本民医連の表彰を受けました。これからも、無理をせず、みんな楽しくやっています！

(支部長 宮崎 隆子)



玄関前行動



支部総会

保したい」と腐心してありますが、これも容易ではありません。世話人会議は、コミュニティセンター（有料）を使用します。

診療所玄関前や9の日宣伝など、定例化した活動もありますが、コロナ禍での中止もあります。つながりをつくり、つながりを生かし、つながりを広げる活動—その核はやはり「健康」だと思えます。「健康チャレンジ」は、よい機会です。(支部長 森島 嘉之)

踏みにじられた市民の思い

カジノを止めよう!



カジノ住民投票を求める署名にご協力、ありがとうございました。大阪府下で21万筆（総数21万134筆、有効数19万2773筆）の署名を集めることができました。

しかし、「大阪カジノの是非を問う住民投票条例案」は、7月29日の臨時大阪府議会で、十分な審議もないまま、維新・公明の反対で否決されました。府民の声に背をむけ、民主主義と住民自治をふみにじるものです。

介護の現場から

27

鳳在宅介護支援センター ケアマネジャー

山田 浩子

休止から再開 出来た活動や、それらの活動に戻ることができた人は良いのですが、そのまま活動から離れてしまっただけではないでしょうか？

2年半にわたる コロナ禍で感じる思い

緊急事態宣言により、あらゆる祭りは中止。自治会、老人会など、地域の活動、友の会活動も自粛、休止せざるを得なくなり、人々が集まる機会が本当に減ってしまいました。

人との関わりがなくなると、自然と外出することが減ります。外出が減ると、自分でも気がつかない間に足腰が弱ります。足腰が弱ると、躓きやすくなり



ます。転倒した方も多いのではないのでしょうか？

人と会う機会が無くなると、自然と話す機会が減り、笑うことができなくなり、マスクをしていられるだけでも、つつい無表情になります。

コロナに罹ることも怖いですが、それ以上に人との関わりが失われるのはもっと怖いのです。皆さんにお願いです。家族、友人、ご近所さん、お節介なくらいお互いを気にかけて、声を掛け合ってください。マスクの中でも笑顔満開で挨拶を交わし、コロナで失った時間と若さを取り戻しましょう。

おおさかまるごと **健康チャレンジ** 健康寿命をのぼそう! Smart Life Project 健活10 Dialo wellness action SDGs

とりくみ期間 10月~11月 2022 参加費 無料

申し込み締切 9月20日(火) 報告書提出者には参加賞プレゼント!

報告書締切 12月20日(火) ラッキー賞もあるよ! QUOカード500円分200名様にプレゼント!

ネットからのお申し込みはこちらから おおさかまるごと健康チャレンジ

主 催 大阪府生活協同組合連合会

パンフレットの必要な方は、健康友の会みみはら事務局(072-244-8061)までお電話ください